| 学校番号 | J3026 |
|---|---|

# 令和８年度　数学科

| 学年 | 2 | 週授業コマ数 | 3 | 授業時数(45 分) | | 標準授業時数(50 分) | ○ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 未来へひろがる数学２　（啓林館） | | | | | | |
| 副教材等 | STEP 演習　中学数学 2（数研出版）<br>スタディサプリ（デジタル教材：リクルート） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題集の宿題を毎日出すので、確実に取り組むようにしましょう。分からない問題は、授業の前後に質問したり、友達に聞いたりするなどして自ら進んで分からないところを解決しようとしてください。また、授業の際には、必要だと思う所をメモするなど、自ら進んで授業に参加してください。

2　学習の到達目標

(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 数学における基本的な概念をさまざまな形で表現する方法を理解し、説明しようとしている。また、数学的な概念を他者に説明する際、数学的な概念・言語を用いて効果的に説明することができる。 | 身の回りの事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分にできる。１つの問題に対し、複数の解答・捉え方を示すことができる。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする。また、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする。自らの学習目標に対して、自分で計画を立て学習を進めることができる。 目の前の課題に対して（宿題）、ただこなすだけでなく自身の能力を伸ばすように積極的に取り組むことできる。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 1章<br>式の計算 | 式の計算 | a：①単項式や多項式、次数や同類項の意味を理解することができる。<br>②単項式や多項式の計算をできるよう になる。<br>b：単項式や多項式の計算方法を１年生の時に学習したことと関連付けて、考察し表現することができるようになる。<br>c：文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 | 単元テスト | 単元テスト<br>期末テスト | 授業プリント、問題集 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2章<br>連立方程式 | 連立方程式<br>連立方程式の利用 | a：①連立方程式の必要性と意味を理解し、解くことができるようになる。<br>②事象の中の数量やその関係に着目して連立方程式をつくり、その連立方程式を解くことができる。<br>b：連立方程式を具体的な場面で活用することができる。<br>c：連立方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 | 単元テスト | 単元テスト<br>期末テスト | 授業プリント、<br>問題集 |
| | 3章<br>一次関数 | 一次関数とグラフ<br>一次関数と方程式<br>一次関数の利用 | a：①一次関数の意味を理解することができる。<br>②一次関数のグラフをかけるようになる。<br>③一次関数の関係を表、式、グラフを用いて表し、問題を処理することができる。<br>b：具体的な事象の中から取り出した２つの数量の関係を、理想化したり単純化したりして一次関数とみなし、変化や対応の様子を調べたり、予測したりすることができる。<br>c：一次関数について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 | 単元テスト | 単元テスト<br>期末テスト | 授業プリント、<br>問題集 |
| 2学期 | 4章<br>図形の調べ方 | 平行と合同 | a：①対頂角や同位角などの用語の意味を理解することができる。<br>②多角形の性質を理解することができる。<br>③①、②で学んだことをもとに、２つの三角形が合同であることを証明することができる。<br>b：図形の性質などを証明することの必要性や意味を考え、表現することができる。<br>c：平面図形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 | 単元テスト | 単元テスト<br>期末テスト | 授業プリント、<br>問題集 |
| | 5章<br>図形の性質と証明 | 三角形、四角形の証明 | a：①二等辺三角形や平行四辺形などの多角形の性質を理解することができる。<br>②その性質を証明することができる。<br>b：三角形の合同を用いることにより、二等辺三角形や平行四辺形などの図形の性質を確かめ、証明することができる。<br>c：四角形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 | 単元テスト | 単元テスト<br>期末テスト | 授業プリント、<br>問題集 |
| 3学期 | 6章<br>場合の数と確率 | 場合の数と確率 | a：①確率の必要性と意味を理解することができる。<br>②樹形図や二次元の表などを利用して、いろいろな場合について確率を求めることができる。<br>③具体的な場面で、確率を活用する方法について理解することができる。<br>b：確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。<br>c：確率について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 | 単元テスト | 単元テスト<br>期末テスト | 授業プリント、<br>問題集 |
| | 7章<br>箱ひげ図とデータの活用 | 箱ひげ図 | a：①箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を理解することができる。<br>②箱ひげ図をかいたり、四分位範囲を求めたりすることができる。<br>③箱ひげ図や四分位範囲などを活用して、問題を解決する方法について理解している。<br>b：箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の特徴や傾向を比較して読み取り、見いだした結論や過程を批判的に考察し判断することができる。<br>c：箱ひげ図や四分位範囲について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 | 単元テスト | 単元テスト<br>期末テスト | 授業プリント、<br>問題集 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度